南海トラフ巨大地震
時間差をおいて発生する地震の被害想定について

【定量的な被害量】

令和７年３月

中央防災会議　防災対策実行会議
南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ

（各被害想定結果の数値に関する留意点）

今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はその計算根拠を明確にするために示したものであるため、ある程度幅をもって見る必要がある。各都府県において地域の実情に応じて実施されている被害想定に影響を与えるものではない。

なお、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。「－」の表記は、「わずか」を意味する。

目次

Ⅰ　時間差をおいて発生する地震の被害様相を示す目的 1

１．被害想定結果 1

（１）2つの地震が独立して発生した場合の被害想定の概要 1

（２）先発地震の被害を考慮して後発地震が発生した場合の被害 1

（３）防災対策による被害軽減 2

Ⅱ　建物・人的被害 7

１．建物被害 7

２．人的被害 9

【参考】都府県別の全壊・焼失棟数 11

【参考】都府県別の半壊棟数 19

【参考】都府県別の死者数 23

Ⅰ　時間差をおいて発生する地震の被害想定を示す目的

最大クラス地震における被害様相とは別に、時間差をおいて発生する地震の被害様相についても示す目的は、以下の 2 点とする。

- 南海トラフ地震臨時情報や、後発地震発生までの時間を最大限活用して適切な対策・対応をとることによって、新たな被害が軽減できる可能性を示し、防災・減災対策を促すこと。
- 先発地震発生後の活発な地震活動や内陸の浅い地震など、大規模な地震が時間差をおいて繰り返し発生することで、被害の増加や社会の混乱につながる可能性を示し、今後の防災・減災対策の検討に必要な事項を提供すること。

１．被害想定結果

（１）2 つの地震が独立して発生した場合の被害想定の概要

東側、西側それぞれ 2 つの半割れ地震が独立して発生（それぞれの地震による被害は考慮しない）した場合の被害想定結果は、次のとおりとなる。

（ア）東側半割れの場合

全壊及び焼失棟数：約 1,238 千棟（冬・夕、風速８m/s）

死者数：約 73 千人（冬・深夜、風速８m/s、早期避難率低）

（イ）西側半割れの場合

全壊及び焼失棟数：約 968 千棟（冬・夕、風速８m/s）

死者数：約 103 千人（冬・深夜、風速８m/s、早期避難率低）

（２）先発地震の被害を考慮して後発地震が発生した場合の被害想定の概要

東側、西側いずれかの半割れ地震が発生した数日後、もう一方の半割れ地震が発生した場合、後発地震における揺れによる全壊棟数と津波による死者数は次のとおりとなる。なお、後発地震の津波に対しては早期避難率高＋呼びかけとした。

（ア）先発地震で東側半割れ、後発地震で西側半割れの場合

後発地震の揺れによる全壊棟数：約 594 千棟

後発地震の津波による死者数：約 13 千人（冬・深夜）

（イ）先発地震で西側半割れ、後発地震で東側半割れの場合

後発地震の揺れによる全壊棟数：約 715 千棟

後発地震の津波による死者数：約 7.9 千人（冬・深夜）

（３）防災対策による被害軽減

（ア）地震動に対する防災対策

先発地震が発生し、数年後に後発地震が発生する場合、後発地震が発生するまでの間で全ての建物に現行耐震基準の耐震性を持たせることにより、後発地震における揺れによる全壊棟数が約 78～85％減少するものと推計される。

このことからも、先発地震が発生した後でも、後発地震に備えて建物の耐震性の強化を推進する必要がある。

（イ）津波に対する防災対策

先発地震が発生し、数日後に後発地震が発生する場合、津波浸水深 30cm 到達時間が 30 分以内の地域の全住民が、津波浸水のリスクが低い知人宅や親類宅等または避難所等へ事前に避難をしていた場合、後発地震の津波による死者数が 95％以上減少するものと推計される。

このことからも、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」が発表された場合の後発地震に備えた住民等の事前避難を推進する必要がある。

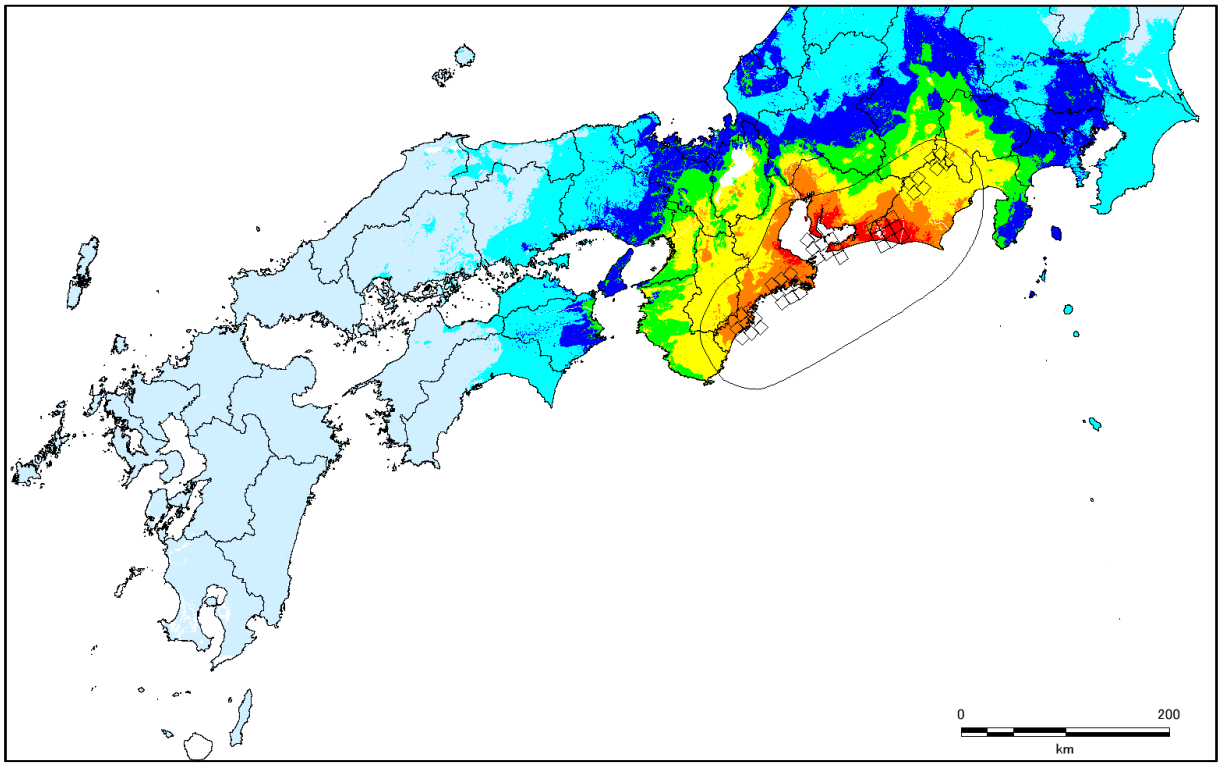

図１　震度分布図（東側半割れ）

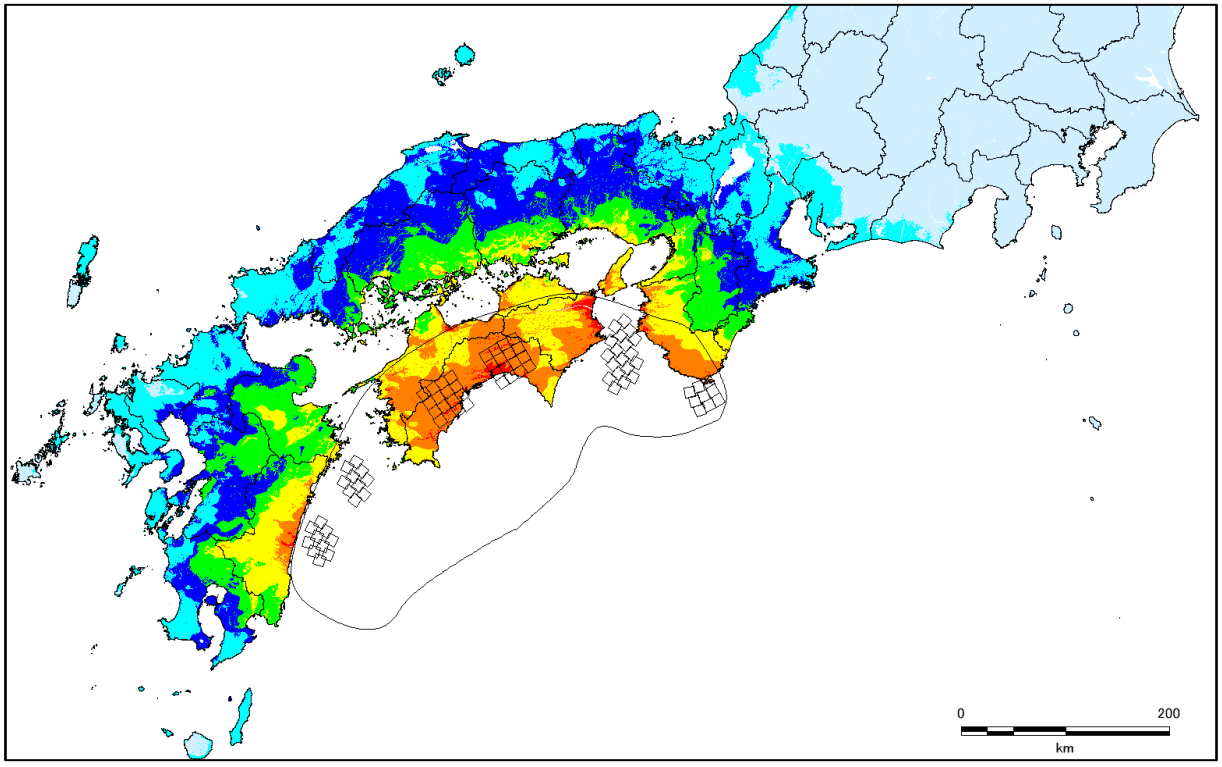

図２　震度分布図（西側半割れ）

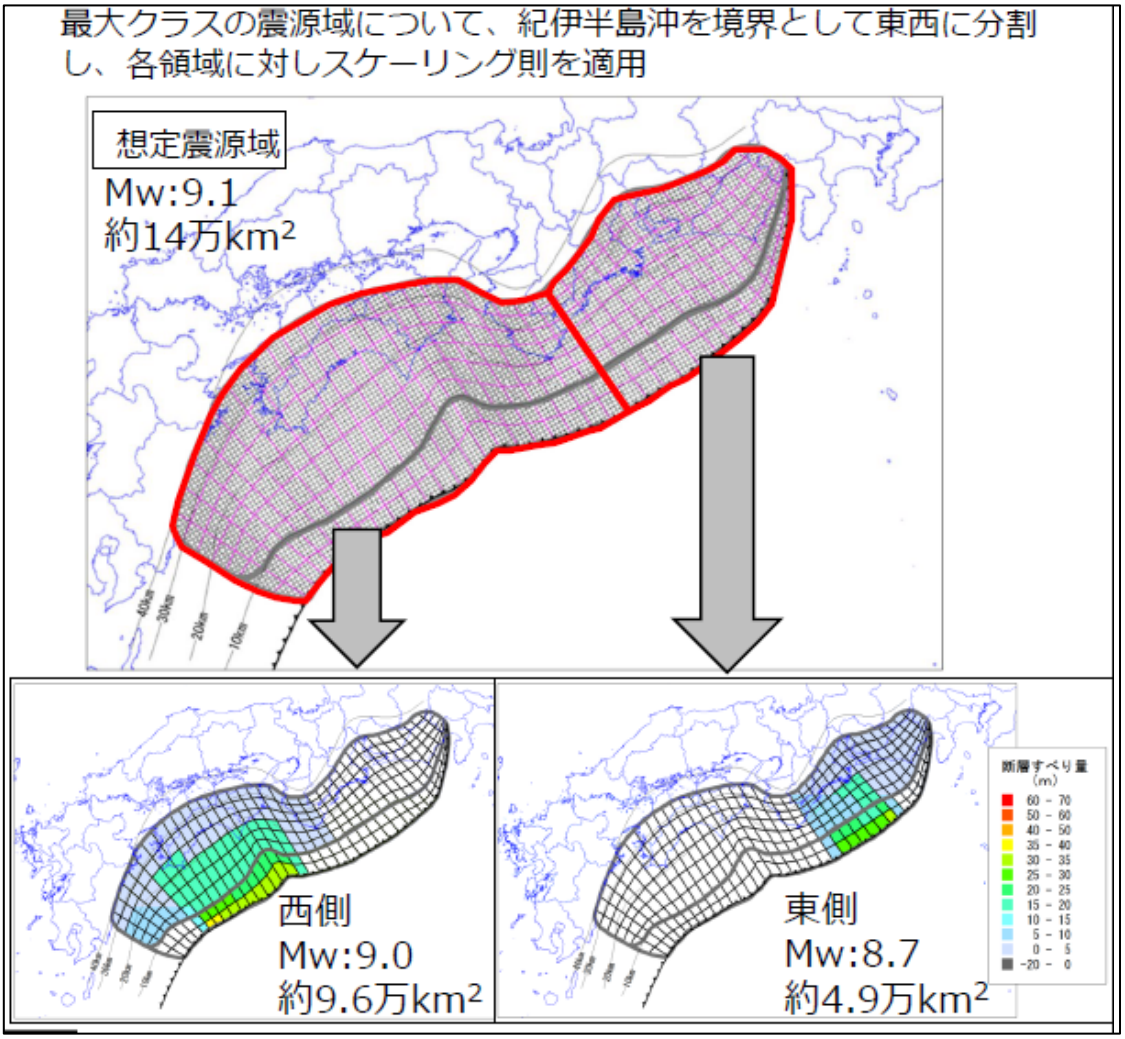

図３　津波断層モデルのすべり量設定

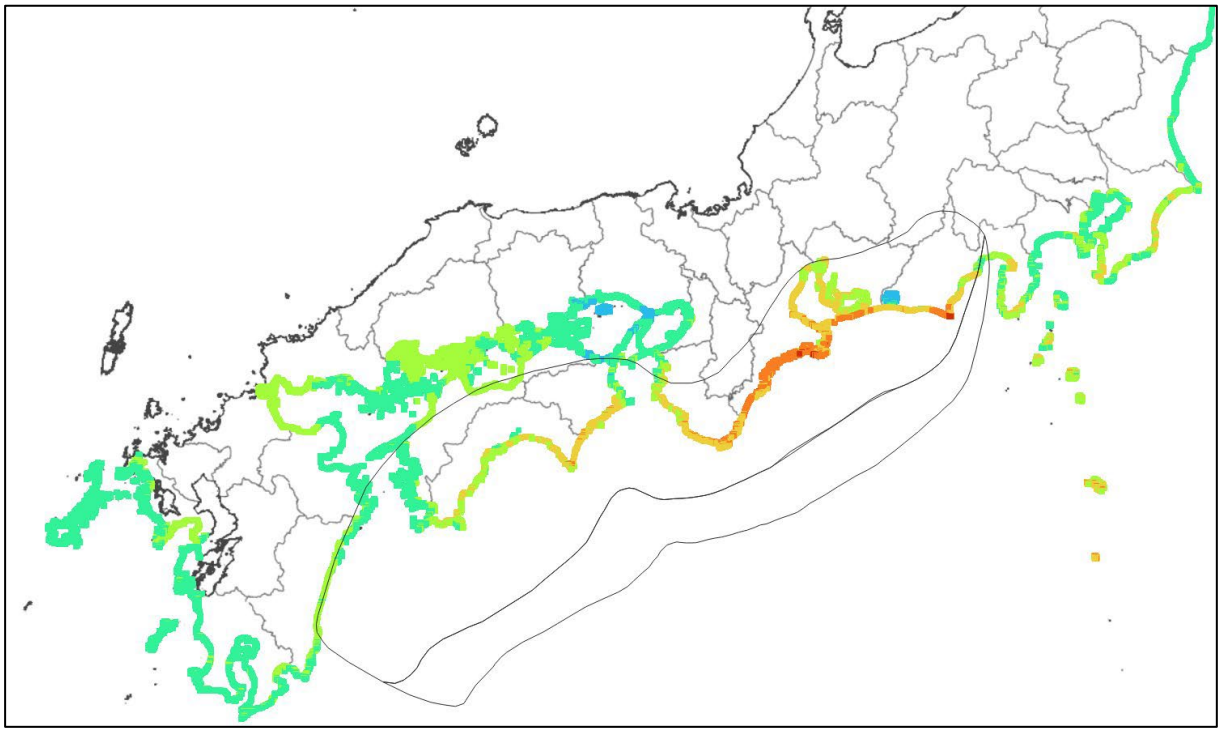

図４　津波高分布図（東側半割れ）

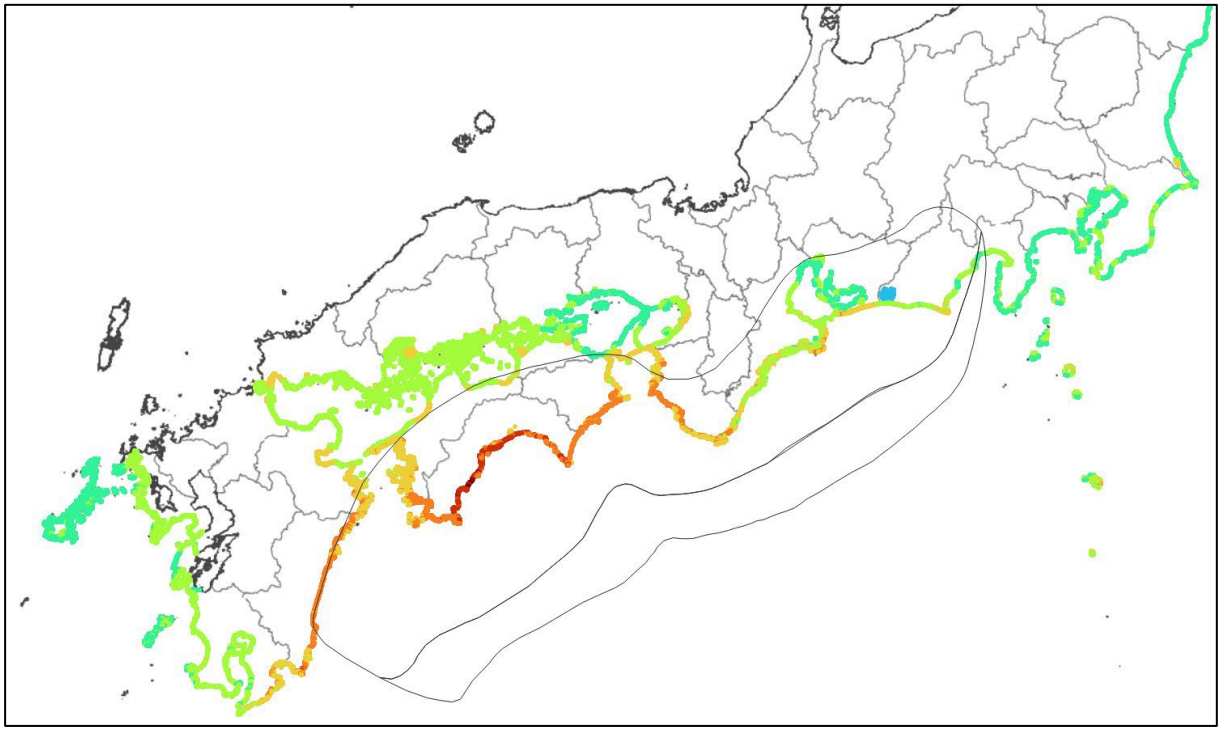

図５　津波高分布図（西側半割れ）

被害想定項目（定量的項目・定性的項目） 一覧

1. 建物等被害
1.1. 揺れによる被害
1.2. 液状化による被害
1.3. 津波による被害
1.4. 急傾斜地崩壊による被害
1.5. 地震火災による被害
1.6. 津波火災による被害

2. 人的被害
2.1. 建物倒壊による被害
2.2. 津波による被害
2.3. 急傾斜地崩壊による被害
2.4. 火災による被害
2.5. ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物による被害
2.6. 屋内収容物移動・転倒、屋内落下物による被害
2.7. 揺れによる建物被害に伴う要救助者（自力脱出困難者）
2.8. 津波被害に伴う要救助者・要捜索者
2.9. 災害関連死

3. ライフライン被害
3.1. 上水道
3.2. 下水道
3.3. 電力
3.4. 情報通信（電話・インターネット等）
3.5. ガス（都市ガス）

4. 交通施設被害
4.1. 道路（高速道路、一般道路）
4.2. 鉄道
4.3. 港湾
4.4. 空港

5. 生活への影響
5.1　避難者
5.2　帰宅困難者
5.3　物資
5.4　医療機能
5.5　保健衛生、防疫、遺体処理等
5.6　各種生活サービス（公共交通機関、教育、福祉、子育て等）

6. 災害廃棄物等
6.1　災害廃棄物等

7. その他の被害
7.1　長周期地震動、エレベーター被害
7.2　孤立集落
7.3　災害応急対策等
7.4　複合災害
7.18　漁船・船舶、水産関連施設
7.19　治安

8. 経済的な被害
8.1　民間部門
8.2　準公共・公共部門

※灰色：今回対象外（被害の様相のみ記述されている項目）

Ⅱ　建物・人的被害

１．建物被害

○2 つの地震が独立して発生した場合の全壊・焼失棟数は約 221 万棟（冬・夕、風速 8m/s）で、巨大地震が発生した場合の全壊・焼失棟数約 235 万棟（地震動：陸側・津波ケース⑤、冬・夕、風速 8m/s）よりは減少する。

○2 つの地震が独立して発生した場合の揺れによる全壊棟数約 125 万棟に対し、先発地震の被害を考慮して後発地震が発生した場合の揺れによる全壊棟数は、先発地震が東側半割れで後発地震が西側半割れの場合、発地震が西側半割れで後発地震が東側半割れの場合のいずれにおいても約 128 万棟と、約 2%増加する。

（１）2 つの半割れ地震が独立して発生した場合の被害（それぞれの地震による被害は考慮しない）

		東半割れ	西半割れ	合計
揺れによる全壊		約 684,000 棟	約 563,000 棟	約 1,247,000 棟
液状化による全壊		約 63,000 棟	約 71,000 棟	約 135,000 棟
津波による全壊		約 20,000 棟	約 76,000 棟	約 96,000 棟
急傾斜地崩壊による全壊		約 2,800 棟	約 4,400 棟	約 7,200 棟
地震火災による焼失	冬・深夜	約 113,000 棟	約 91,000 棟	約 203,000 棟
	冬・夕	約 468,000 棟	約 253,000 棟	約 721,000 棟
全壊焼失棟数合計	冬・深夜	約 883,000 棟	約 805,000 棟	約 1,688,000 棟
	冬・夕	約 1,238,000 棟	約 968,000 棟	約 2,206,000 棟
半壊棟数合計	冬・深夜	約 1,543,000 棟	約 1,310,000 棟	約 2,853,000 棟
	冬・夕	約 1,475,000 棟	約 1,271,000 棟	約 2,746,000 棟

※いずれも、地震動ケース（陸側）、風速８ｍ/ｓの場合

（２）先発地震の被害を考慮し、後発地震が発生した場合の被害

（ア）先発地震が東側半割れ、後発地震が西側半割れの場合

<table>
<tr><th></th><th>先発地震
（東半割れ）</th><th>後発地震
（西半割れ）</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>揺れによる全壊</td><td rowspan="2">約 684,000 棟</td><td>約 594,000 棟</td><td>約 1,278,000 棟</td></tr>
<tr><td>【防災対策による効果】
揺れによる全壊（先発地震の数年後に後発地震が発生した場合）
※後発地震発生までの間に 100%耐震化した場合</td><td>約 89,000 棟</td><td>約 773,000 棟</td></tr>
</table>

※いずれも、地震動陸側ケース、冬・夕、風速８ｍ/s の場合

（イ）先発地震が西側半割れ、後発地震が東側半割れの場合

<table>
<tr><th></th><th>先発地震
（西半割れ）</th><th>後発地震
（東半割れ）</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>揺れによる全壊</td><td rowspan="2">約 563,000 棟</td><td>約 715,000 棟</td><td>約 1,277,000 棟</td></tr>
<tr><td>【防災対策による効果】
揺れによる全壊（先発地震の数年後に後発地震が発生した場合）
※後発地震発生までの間に 100%耐震化した場合</td><td>約 157,000 棟</td><td>約 720,000 棟</td></tr>
</table>

※いずれも、地震動陸側ケース、冬・夕、風速８ｍ/s の場合

２．人的被害

○2 つの地震が独立して発生した場合の死者数合計は約 17.6 万人（冬・深夜、風速 8m/s、早期避難率低）で、巨大地震が発生した場合の死者数合計約 29.8 万人（地震動陸側、津波ケース①、冬・深夜、風速 8m/s、早期避難率低）よりは減少する。

○2 つの地震が独立して発生した場合の津波による死者数合計約 9.5 万人に対し、先発地震の被害を考慮して後発地震が発生した場合の揺れによる死者数合計は、先発地震が東側半割れで後発地震が西側半割れの場合に約 4.2 万人、先発地震が西側半割れで後発地震が東側半割れの場合に約 7.4 万人と、いずれも大幅に減少する。

（１）2 つの半割れ地震が独立して発生した場合の被害（それぞれの地震による被害は考慮しない）

冬・深夜、風速８ｍ/s の場合

		東半割れ	西半割れ	合計
建物倒壊による死者 （うち屋内収容物移動･転倒、屋内落下物）		約 38,000 人 （約 3,100 人）	約 33,000 人 （約 2,100 人）	約 71,000 人 （約 5,200 人）
津波による死者	早期避難率高 ＋呼びかけ	約 13,000 人	約 15,000 人	約 28,000 人
	早期避難率低	約 29,000 人	約 66,000 人	約 95,000 人
急傾斜地崩壊による死者		約 300 人	約 400 人	約 600 人
地震火災による死者		約 4,900 人	約 4,000 人	約 8,900 人
ブロック塀等・自動販売機の転倒、屋外落下物による死者		約 10 人	約 10 人	約 20 人
死者数合計	早期避難率高 ＋呼びかけ	約 56,000 人	約 52,000 人	約 109,000 人
	早期避難率低	約 73,000 人	約 103,000 人	約 176,000 人

冬・夕、風速８ｍ/s の場合

		東半割れ	西半割れ	合計
建物倒壊による死者 （うち屋内収容物移動･転倒、屋内落下物）		約 28,000 人 （約 2,000 人）	約 24,000 人 （約 1,400 人）	約 52,000 人 （約 3,400 人）
津波による死者	早期避難率高 ＋呼びかけ	約 5,600 人	約 8,700 人	約 14,000 人
	早期避難率低	約 21,000 人	約 55,000 人	約 75,000 人
急傾斜地崩壊による死者		約 200 人	約 300 人	約 500 人
地震火災による死者		約 12,000 人	約 7,600 人	約 20,000 人
ブロック塀等・自動販売機の転倒、屋外落下物による死者		約 500 人	約 300 人	約 800 人
死者数合計	早期避難率高 ＋呼びかけ	約 47,000 人	約 41,000 人	約 88,000 人
	早期避難率低	約 62,000 人	約 87,000 人	約 149,000 人

（２）先発地震の被害を考慮し、後発地震が発生した場合の被害

（ア）先発地震が東側半割れ、後発地震が西側半割れの場合

<table>
<tr><th></th><th>先発地震
（東半割れ）</th><th>後発地震
（西半割れ）</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>津波による死者
（事前避難しない場合）</td><td rowspan="2">約 29,000 人</td><td>約 13,000 人</td><td>約 42,000 人</td></tr>
<tr><td>【防災対策による効果】
津波による死者
※南海トラフ地震臨時情報の活用により、浸水深 30cm 到達時間 30 分以内の地域の住民が全員事前避難した場合</td><td>約 700 人</td><td>約 30,000 人</td></tr>
</table>

※いずれも、冬・深夜、風速8m/s、先発地震が早期避難率低、後発地震が早期避難率高＋呼びかけの場合

（イ）先発地震が西側半割れ、後発地震が東側半割れの場合

<table>
<tr><th></th><th>先発地震
（西半割れ）</th><th>後発地震
（東半割れ）</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>津波による死者
（事前避難しない場合）</td><td rowspan="2">約 66,000 人</td><td>約 7,900 人</td><td>約 74,000 人</td></tr>
<tr><td>【防災対策による効果】
津波による死者
※南海トラフ地震臨時情報の活用により、浸水深 30cm 到達時間 30 分以内の地域の住民が全員事前避難した場合</td><td>約 10 人</td><td>約 66,000 人</td></tr>
</table>

※いずれも、冬・深夜、風速8m/s、先発地震が早期避難率低、後発地震が早期避難率高＋呼びかけの場合

【参考】都府県別の全壊・焼失棟数

（１）2 つの半割れ地震が独立して発生した場合の被害（それぞれの地震による被害は考慮しない）

全壊・焼失棟数（東側半割れ、地震動陸側ケース、冬・深夜、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県	－	－	－	－	－	－
栃木県	－	－	－	－	－	－
群馬県	－	－	－	－	－	－
埼玉県	－	約 800	－	－	約 10	約 800
千葉県	－	－	約 200	－	－	約 200
東京都	－	約 200	約 100	－	約 10	約 300
神奈川県	約 20	約 400	約 70	－	約 10	約 500
新潟県	－	－	－	－	－	－
富山県	－	－	－	－	－	－
石川県	－	約 20	－	－	－	約 20
福井県	－	約 1,700	－	約 10	－	約 1,700
山梨県	約 5,800	約 600	－	約 100	約 30	約 6,500
長野県	約 1,500	約 1,500	－	約 100	約 10	約 3,100
岐阜県	約 6,000	約 3,200	－	約 30	約 70	約 9,300
静岡県	約 194,000	約 3,300	約 500	約 500	約 23,000	約 220,000
愛知県	約 245,000	約 17,000	約 200	約 400	約 48,000	約 311,000
三重県	約 157,000	約 5,300	約 15,000	約 800	約 26,000	約 203,000
滋賀県	約 8,900	約 2,400	－	約 80	約 50	約 11,000
京都府	約 10,000	約 2,500	－	約 40	約 900	約 14,000
大阪府	約 27,000	約 12,000	－	約 60	約 15,000	約 54,000
兵庫県	約 700	約 1,700	約 40	約 10	約 30	約 2,400
奈良県	約 24,000	約 4,600	－	約 300	約 500	約 29,000
和歌山県	約 4,700	約 4,100	約 2,600	約 300	約 30	約 12,000
鳥取県	－	－	－	－	－	－
島根県	－	－	－	－	－	－
岡山県	－	－	約 40	－	－	約 40
広島県	－	－	約 60	－	－	約 60
山口県	－	－	約 20	－	－	約 20
徳島県	－	約 2,600	約 300	約 10	－	約 2,900
香川県	－	約 100	約 10	－	－	約 100
愛媛県	－	－	約 60	－	－	約 60
高知県	－	－	約 400	－	－	約 400
福岡県	－	－	－	－	－	－
佐賀県	－	－	－	－	－	－
長崎県	－	－	約 90	－	－	約 90
熊本県	－	－	約 10	－	－	約 10
大分県	－	－	約 30	－	－	約 30
宮崎県	－	－	約 20	－	－	約 20
鹿児島県	－	－	約 50	－	－	約 50
沖縄県	－	－	約 10	－	－	約 10
合計	約 684,000	約 63,000	約 20,000	約 2,800	約 113,000	約 883,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

全壊・焼失棟数（東側半割れ、地震動陸側ケース、冬・夕、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県	－	－	－	－	－	－
栃木県	－	－	－	－	－	－
群馬県	－	－	－	－	－	－
埼玉県	－	約 800	－	－	約 60	約 900
千葉県	－	－	約 200	－	－	約 200
東京都	－	約 200	約 100	－	約 80	約 300
神奈川県	約 20	約 400	約 70	－	約 70	約 500
新潟県	－	－	－	－	－	－
富山県	－	－	－	－	－	－
石川県	－	約 20	－	－	－	約 20
福井県	－	約 1,700	－	約 10	約 10	約 1,700
山梨県	約 5,800	約 600	－	約 100	約 1,400	約 7,900
長野県	約 1,500	約 1,500	－	約 100	約 50	約 3,100
岐阜県	約 6,000	約 3,200	－	約 30	約 400	約 9,600
静岡県	約 194,000	約 3,300	約 500	約 500	約 66,000	約 264,000
愛知県	約 245,000	約 17,000	約 200	約 400	約 139,000	約 401,000
三重県	約 157,000	約 5,300	約 15,000	約 800	約 62,000	約 239,000
滋賀県	約 8,900	約 2,400	－	約 80	約 4,000	約 15,000
京都府	約 10,000	約 2,500	－	約 40	約 47,000	約 60,000
大阪府	約 27,000	約 12,000	－	約 60	約 135,000	約 174,000
兵庫県	約 700	約 1,700	約 40	約 10	約 1,100	約 3,500
奈良県	約 24,000	約 4,600	－	約 300	約 11,000	約 40,000
和歌山県	約 4,700	約 4,100	約 2,600	約 300	約 1,000	約 13,000
鳥取県	－	－	－	－	－	－
島根県	－	－	－	－	－	－
岡山県	－	－	約 40	－	－	約 40
広島県	－	－	約 60	－	－	約 60
山口県	－	－	約 20	－	－	約 20
徳島県	－	約 2,600	約 300	約 10	約 10	約 2,900
香川県	－	約 100	約 10	－	－	約 100
愛媛県	－	－	約 60	－	－	約 60
高知県	－	－	約 400	－	－	約 400
福岡県	－	－	－	－	－	－
佐賀県	－	－	－	－	－	－
長崎県	－	－	約 90	－	－	約 90
熊本県	－	－	約 10	－	－	約 10
大分県	－	－	約 30	－	－	約 30
宮崎県	－	－	約 20	－	－	約 20
鹿児島県	－	－	約 50	－	－	約 50
沖縄県	－	－	約 10	－	－	約 10
合計	約 684,000	約 63,000	約 20,000	約 2,800	約 468,000	約 1,238,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

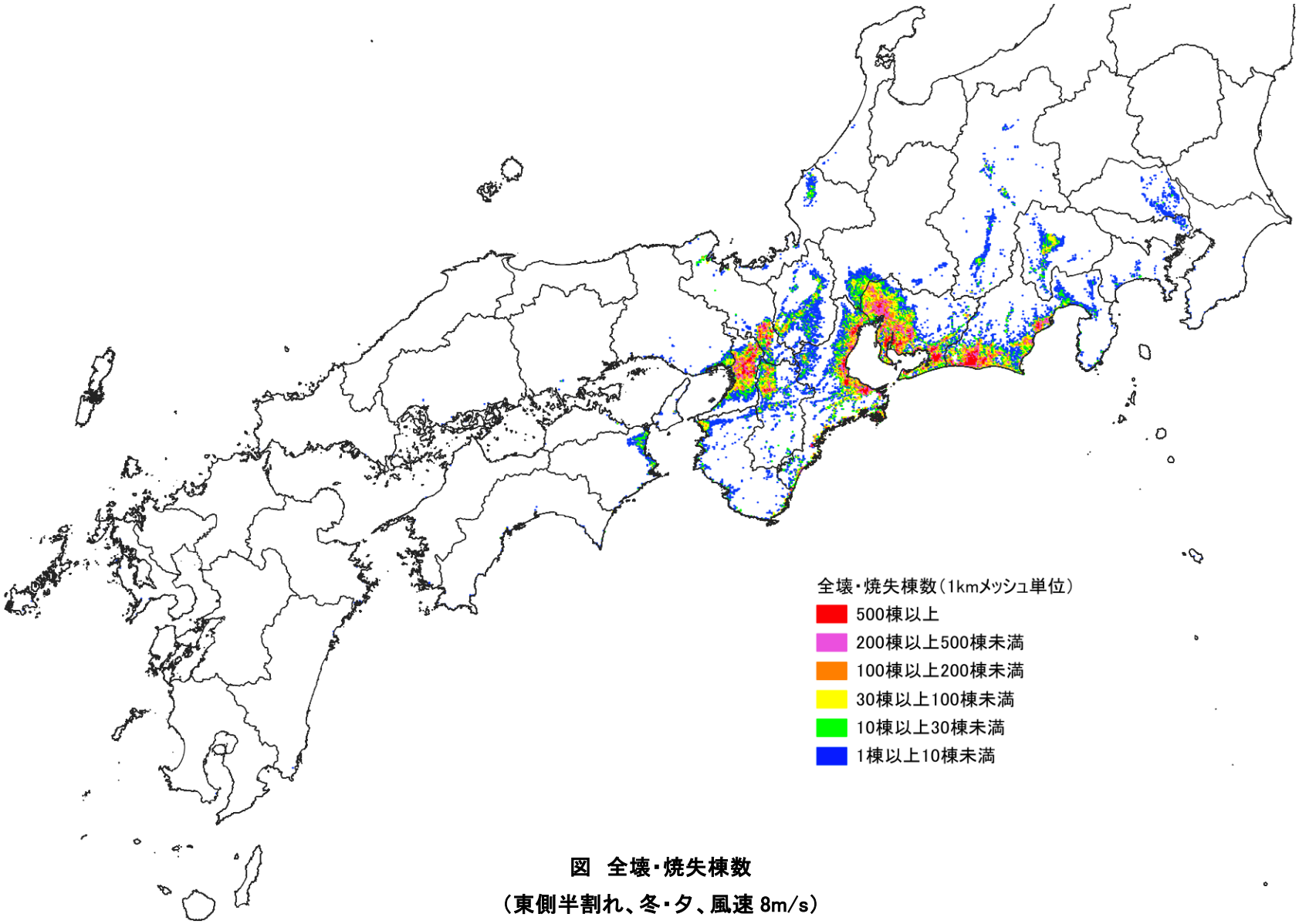

図　全壊・焼失棟数

（東側半割れ、冬・夕、風速 8m/s）

全壊・焼失棟数（西側半割れ、地震動陸側ケース、冬・深夜、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県	－	－	－	－	－	－
栃木県	－	－	－	－	－	－
群馬県	－	－	－	－	－	－
埼玉県	－	－	－	－	－	－
千葉県	－	－	約 70	－	－	約 70
東京都	－	－	約 200	－	－	約 200
神奈川県	－	－	約 40	－	－	約 40
新潟県	－	－	－	－	－	－
富山県	－	－	－	－	－	－
石川県	－	－	－	－	－	－
福井県	－	－	－	－	－	－
山梨県	－	－	－	－	－	－
長野県	－	－	－	－	－	－
岐阜県	－	－	－	－	－	－
静岡県	－	－	約 60	－	－	約 60
愛知県	－	－	約 40	－	－	約 40
三重県	約 400	約 600	約 600	約 60	－	約 1,700
滋賀県	－	約 200	－	－	－	約 200
京都府	－	約 1,100	－	－	約 10	約 1,100
大阪府	約 7,200	約 11,000	約 90	約 40	約 200	約 19,000
兵庫県	約 21,000	約 2,900	約 1,300	約 100	約 1,400	約 27,000
奈良県	約 700	約 4,200	－	約 40	約 10	約 4,900
和歌山県	約 78,000	約 4,200	約 9,700	約 600	約 23,000	約 115,000
鳥取県	－	約 300	－	－	－	約 300
島根県	－	約 400	－	－	－	約 400
岡山県	約 15,000	約 4,800	約 100	約 200	約 1,100	約 22,000
広島県	約 10,000	約 11,000	約 1,100	約 300	約 60	約 23,000
山口県	約 1,200	約 2,600	約 200	約 40	約 10	約 4,100
徳島県	約 88,000	約 3,500	約 5,900	約 600	約 22,000	約 120,000
香川県	約 37,000	約 3,800	約 400	約 100	約 3,100	約 44,000
愛媛県	約 107,000	約 6,600	約 14,000	約 400	約 21,000	約 149,000
高知県	約 157,000	約 1,100	約 33,000	約 1,200	約 16,000	約 209,000
福岡県	－	約 300	約 30	－	－	約 300
佐賀県	－	約 10	－	－	－	約 10
長崎県	－	約 10	約 300	－	－	約 300
熊本県	約 10	約 2,900	約 30	約 10	約 10	約 3,000
大分県	約 3,300	約 2,300	約 4,600	約 300	約 20	約 11,000
宮崎県	約 35,000	約 3,100	約 3,900	約 400	約 3,800	約 46,000
鹿児島県	約 200	約 3,700	約 300	約 20	－	約 4,200
沖縄県	－	－	約 10	－	－	約 10
合計	約 563,000	約 71,000	約 76,000	約 4,400	約 91,000	約 805,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

全壊・焼失棟数（西側半割れ、地震動陸側ケース、冬・夕、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地崩壊	火災	合計
茨城県	－	－	－	－	－	－
栃木県	－	－	－	－	－	－
群馬県	－	－	－	－	－	－
埼玉県	－	－	－	－	－	－
千葉県	－	－	約 70	－	－	約 70
東京都	－	－	約 200	－	－	約 200
神奈川県	－	－	約 40	－	－	約 40
新潟県	－	－	－	－	－	－
富山県	－	－	－	－	－	－
石川県	－	－	－	－	－	－
福井県	－	－	－	－	－	－
山梨県	－	－	－	－	－	－
長野県	－	－	－	－	－	－
岐阜県	－	－	－	－	－	－
静岡県	－	－	約 60	－	－	約 60
愛知県	－	－	約 40	－	－	約 40
三重県	約 400	約 600	約 600	約 60	約 10	約 1,700
滋賀県	－	約 200	－	－	約 10	約 200
京都府	－	約 1,100	－	－	約 40	約 1,100
大阪府	約 7,200	約 11,000	約 90	約 40	約 42,000	約 60,000
兵庫県	約 21,000	約 2,900	約 1,300	約 100	約 12,000	約 37,000
奈良県	約 700	約 4,200	－	約 40	約 50	約 5,000
和歌山県	約 78,000	約 4,200	約 9,700	約 600	約 37,000	約 130,000
鳥取県	－	約 300	－	－	－	約 300
島根県	－	約 400	－	－	－	約 400
岡山県	約 15,000	約 4,800	約 100	約 200	約 17,000	約 37,000
広島県	約 10,000	約 11,000	約 1,100	約 300	約 200	約 23,000
山口県	約 1,200	約 2,600	約 200	約 40	約 30	約 4,100
徳島県	約 88,000	約 3,500	約 5,900	約 600	約 27,000	約 126,000
香川県	約 37,000	約 3,800	約 400	約 100	約 9,100	約 50,000
愛媛県	約 107,000	約 6,600	約 14,000	約 400	約 58,000	約 187,000
高知県	約 157,000	約 1,100	約 33,000	約 1,200	約 32,000	約 225,000
福岡県	－	約 300	約 30	－	約 10	約 300
佐賀県	－	約 10	－	－	－	約 10
長崎県	－	約 10	約 300	－	－	約 300
熊本県	約 10	約 2,900	約 30	約 10	約 30	約 3,000
大分県	約 3,300	約 2,300	約 4,600	約 300	約 400	約 11,000
宮崎県	約 35,000	約 3,100	約 3,900	約 400	約 18,000	約 61,000
鹿児島県	約 200	約 3,700	約 300	約 20	約 20	約 4,200
沖縄県	－	－	約 10	－	－	約 10
合計	約 563,000	約 71,000	約 76,000	約 4,400	約 253,000	約 968,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

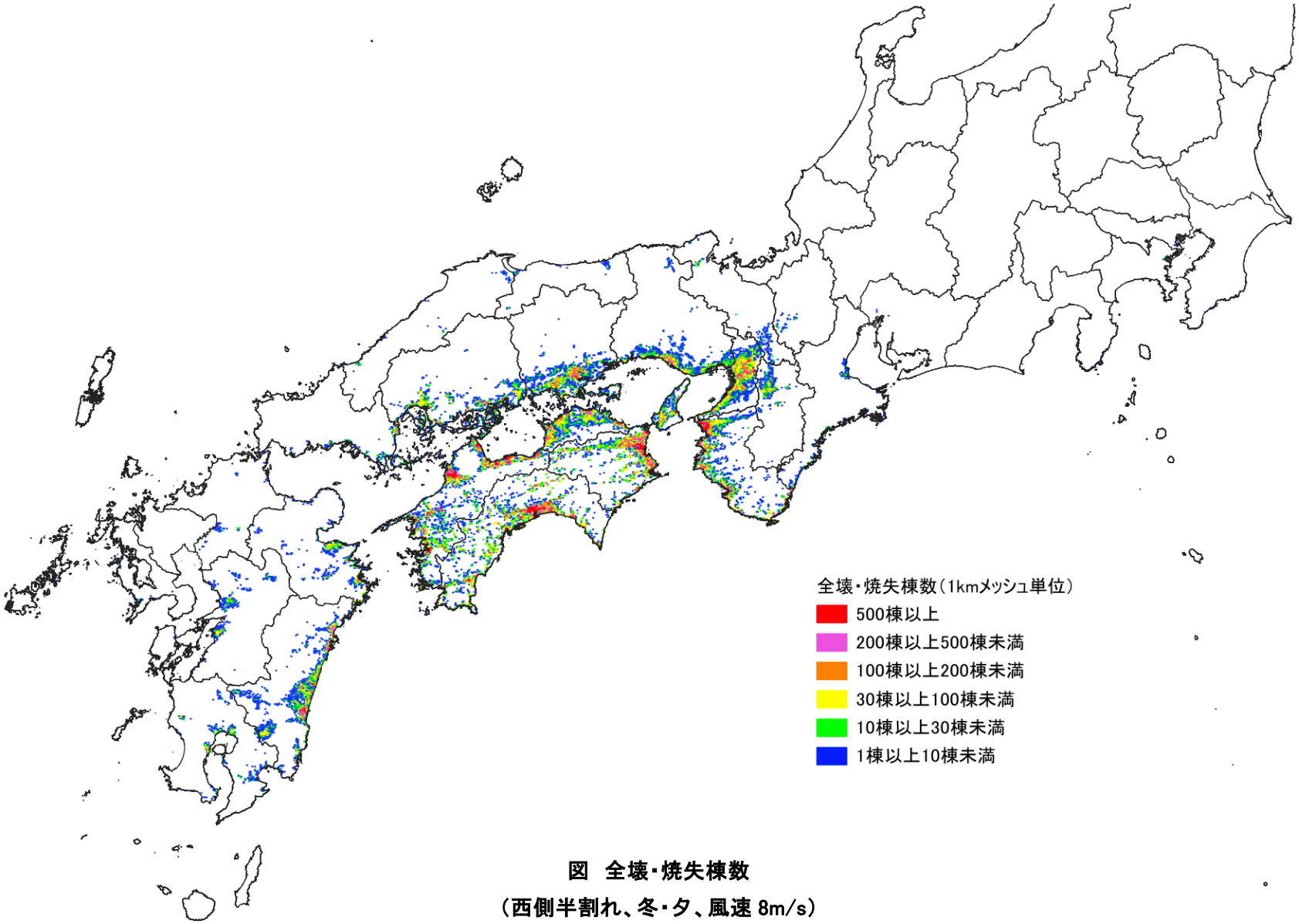

図　全壊・焼失棟数

（西側半割れ、冬・夕、風速 8m/s）

（２）先発地震の被害を考慮し、後発地震が発生した場合の被害

（ア）先発地震が東側半割れ、後発地震が西側半割れの場合

揺れによる全壊棟数

（棟）

	先発地震（東半割れ）	後発地震（西半割れ）	合計
茨城県	－	－	－
栃木県	－	－	－
群馬県	－	－	－
埼玉県	－	－	－
千葉県	－	－	－
東京都	－	－	－
神奈川県	約 20	－	約 20
新潟県	－	－	－
富山県	－	－	－
石川県	－	－	－
福井県	－	－	－
山梨県	約 5,800	－	約 5,800
長野県	約 1,500	－	約 1,500
岐阜県	約 6,000	－	約 6,000
静岡県	約 194,000	－	約 194,000
愛知県	約 245,000	－	約 245,000
三重県	約 157,000	約 1,600	約 158,000
滋賀県	約 8,900	－	約 8,900
京都府	約 10,000	約 200	約 10,000
大阪府	約 27,000	約 24,000	約 51,000
兵庫県	約 700	約 22,000	約 23,000
奈良県	約 24,000	約 4,900	約 28,000
和歌山県	約 4,700	約 85,000	約 90,000
鳥取県	－	－	－
島根県	－	－	－
岡山県	－	約 15,000	約 15,000
広島県	－	約 10,000	約 10,000
山口県	－	約 1,200	約 1,200
徳島県	－	約 89,000	約 89,000
香川県	－	約 37,000	約 37,000
愛媛県	－	約 107,000	約 107,000
高知県	－	約 157,000	約 157,000
福岡県	－	－	－
佐賀県	－	－	－
長崎県	－	－	－
熊本県	－	約 10	約 10
大分県	－	約 3,300	約 3,300
宮崎県	－	約 35,000	約 35,000
鹿児島県	－	約 200	約 200
沖縄県	－	－	－
合計	約 684,000	約 594,000	約 1,278,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

（イ）先発地震が西側半割れ、後発地震が東側半割れの場合

揺れによる全壊棟数

（棟）

	先発地震（西半割れ）	後発地震（東半割れ）	合計
茨城県	－	－	－
栃木県	－	－	－
群馬県	－	－	－
埼玉県	－	－	－
千葉県	－	－	－
東京都	－	－	－
神奈川県	－	約 20	約 20
新潟県	－	－	－
富山県	－	－	－
石川県	－	－	－
福井県	－	－	－
山梨県	－	約 5,800	約 5,800
長野県	－	約 1,500	約 1,500
岐阜県	－	約 6,000	約 6,000
静岡県	－	約 194,000	約 194,000
愛知県	－	約 245,000	約 245,000
三重県	約 400	約 158,000	約 158,000
滋賀県	－	約 8,900	約 8,900
京都府	－	約 10,000	約 10,000
大阪府	約 7,200	約 43,000	約 50,000
兵庫県	約 21,000	約 1,500	約 23,000
奈良県	約 700	約 27,000	約 28,000
和歌山県	約 78,000	約 13,000	約 91,000
鳥取県	－	－	－
島根県	－	－	－
岡山県	約 15,000	－	約 15,000
広島県	約 10,000	－	約 10,000
山口県	約 1,200	－	約 1,200
徳島県	約 88,000	約 200	約 89,000
香川県	約 37,000	－	約 37,000
愛媛県	約 107,000	－	約 107,000
高知県	約 157,000	－	約 157,000
福岡県	－	－	－
佐賀県	－	－	－
長崎県	－	－	－
熊本県	約 10	－	約 10
大分県	約 3,300	－	約 3,300
宮崎県	約 35,000	－	約 35,000
鹿児島県	約 200	－	約 200
沖縄県	－	－	－
合計	約 563,000	約 715,000	約 1,277,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

【参考】都府県別の半壊棟数

（１）2 つの半割れ地震が独立して発生した場合の被害（それぞれの地震による被害は考慮しない）

半壊棟数（東側半割れ、冬・深夜、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地崩壊	合計
茨城県	－	約 10	約 50	－	約 60
栃木県	－	－	－	－	－
群馬県	－	－	－	－	－
埼玉県	約 400	約 7,300	約 30	－	約 7,700
千葉県	－	約 20	約 1,400	－	約 1,500
東京都	－	約 1,200	約 500	－	約 1,600
神奈川県	約 2,400	約 3,100	約 1,300	約 10	約 6,700
新潟県	－	－	－	－	－
富山県	－	－	－	－	－
石川県	－	約 100	－	－	約 100
福井県	約 1,200	約 8,700	－	約 20	約 9,900
山梨県	約 26,000	約 3,400	－	約 200	約 29,000
長野県	約 15,000	約 7,700	－	約 200	約 23,000
岐阜県	約 32,000	約 18,000	－	約 70	約 50,000
静岡県	約 206,000	約 20,000	約 3,300	約 1,100	約 230,000
愛知県	約 325,000	約 92,000	約 1,100	約 800	約 419,000
三重県	約 165,000	約 24,000	約 20,000	約 1,400	約 211,000
滋賀県	約 47,000	約 14,000	－	約 200	約 61,000
京都府	約 60,000	約 11,000	－	約 80	約 71,000
大阪府	約 159,000	約 58,000	約 90	約 100	約 217,000
兵庫県	約 13,000	約 12,000	約 1,000	約 30	約 26,000
奈良県	約 68,000	約 20,000	－	約 600	約 89,000
和歌山県	約 28,000	約 22,000	約 7,800	約 700	約 58,000
鳥取県	－	－	－	－	－
島根県	－	－	－	－	－
岡山県	－	－	約 200	－	約 200
広島県	－	－	約 300	－	約 300
山口県	－	－	約 500	－	約 500
徳島県	約 1,800	約 18,000	約 2,100	約 10	約 22,000
香川県	－	約 500	約 200	－	約 700
愛媛県	－	－	約 700	－	約 700
高知県	－	－	約 3,400	－	約 3,400
福岡県	－	－	－	－	－
佐賀県	－	－	－	－	－
長崎県	－	－	約 1,000	－	約 1,000
熊本県	－	－	約 100	－	約 100
大分県	－	－	約 500	－	約 500
宮崎県	－	－	約 400	－	約 400
鹿児島県	－	－	約 600	－	約 600
沖縄県	－	－	約 200	－	約 200
合計	約 1,148,000	約 342,000	約 47,000	約 5,400	約 1,543,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

半壊棟数（東側半割れ、冬・夕、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地崩壊	合計
茨城県	－	約 10	約 50	－	約 60
栃木県	－	－	－	－	－
群馬県	－	－	－	－	－
埼玉県	約 400	約 7,300	約 30	－	約 7,700
千葉県	－	約 20	約 1,400	－	約 1,500
東京都	－	約 1,200	約 500	－	約 1,600
神奈川県	約 2,400	約 3,100	約 1,300	約 10	約 6,700
新潟県	－	－	－	－	－
富山県	－	－	－	－	－
石川県	－	約 100	－	－	約 100
福井県	約 1,200	約 8,700	－	約 20	約 9,900
山梨県	約 26,000	約 3,400	－	約 200	約 29,000
長野県	約 15,000	約 7,700	－	約 200	約 23,000
岐阜県	約 32,000	約 18,000	－	約 70	約 50,000
静岡県	約 194,000	約 19,000	約 3,200	約 1,000	約 217,000
愛知県	約 308,000	約 87,000	約 1,000	約 800	約 397,000
三重県	約 156,000	約 23,000	約 19,000	約 1,300	約 199,000
滋賀県	約 46,000	約 14,000	－	約 200	約 61,000
京都府	約 56,000	約 11,000	－	約 80	約 67,000
大阪府	約 149,000	約 54,000	約 90	約 100	約 204,000
兵庫県	約 13,000	約 12,000	約 1,000	約 30	約 26,000
奈良県	約 67,000	約 19,000	－	約 600	約 87,000
和歌山県	約 27,000	約 22,000	約 7,800	約 700	約 57,000
鳥取県	－	－	－	－	－
島根県	－	－	－	－	－
岡山県	－	－	約 200	－	約 200
広島県	－	－	約 300	－	約 300
山口県	－	－	約 500	－	約 500
徳島県	約 1,800	約 18,000	約 2,100	約 10	約 22,000
香川県	－	約 500	約 200	－	約 700
愛媛県	－	－	約 700	－	約 700
高知県	－	－	約 3,400	－	約 3,400
福岡県	－	－	－	－	－
佐賀県	－	－	－	－	－
長崎県	－	－	約 1,000	－	約 1,000
熊本県	－	－	約 100	－	約 100
大分県	－	－	約 500	－	約 500
宮崎県	－	－	約 400	－	約 400
鹿児島県	－	－	約 600	－	約 600
沖縄県	－	－	約 200	－	約 200
合計	約 1,095,000	約 329,000	約 45,000	約 5,300	約 1,475,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

半壊棟数（西側半割れ、地震動陸側ケース、冬・深夜、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地崩壊	合計
茨城県	－	－	約 30	－	約 30
栃木県	－	－	－	－	－
群馬県	－	－	－	－	－
埼玉県	－	－	約 30	－	約 30
千葉県	－	－	約 500	－	約 500
東京都	－	－	約 500	－	約 500
神奈川県	－	－	約 1,000	－	約 1,000
新潟県	－	－	－	－	－
富山県	－	－	－	－	－
石川県	－	－	－	－	－
福井県	－	－	－	－	－
山梨県	－	－	－	－	－
長野県	－	－	－	－	－
岐阜県	－	－	－	－	－
静岡県	－	－	約 1,800	－	約 1,800
愛知県	－	－	約 500	－	約 500
三重県	約 2,900	約 2,900	約 4,500	約 100	約 10,000
滋賀県	約 30	約 1,300	－	－	約 1,300
京都府	約 1,700	約 5,500	－	－	約 7,200
大阪府	約 77,000	約 56,000	約 1,000	約 100	約 134,000
兵庫県	約 77,000	約 18,000	約 5,900	約 300	約 101,000
奈良県	約 11,000	約 20,000	－	約 80	約 31,000
和歌山県	約 79,000	約 15,000	約 14,000	約 1,100	約 110,000
鳥取県	約 70	約 1,500	－	－	約 1,600
島根県	約 30	約 1,400	－	－	約 1,400
岡山県	約 75,000	約 22,000	約 900	約 300	約 98,000
広島県	約 53,000	約 49,000	約 7,800	約 600	約 110,000
山口県	約 8,700	約 10,000	約 3,500	約 80	約 23,000
徳島県	約 77,000	約 15,000	約 18,000	約 1,100	約 110,000
香川県	約 81,000	約 16,000	約 7,000	約 300	約 104,000
愛媛県	約 131,000	約 24,000	約 15,000	約 800	約 171,000
高知県	約 82,000	約 1,900	約 12,000	約 2,100	約 98,000
福岡県	約 200	約 1,400	約 1,700	－	約 3,300
佐賀県	－	約 80	－	－	約 80
長崎県	約 10	約 40	約 2,600	－	約 2,700
熊本県	約 3,800	約 16,000	約 100	約 20	約 19,000
大分県	約 21,000	約 12,000	約 20,000	約 700	約 53,000
宮崎県	約 66,000	約 14,000	約 7,000	約 800	約 88,000
鹿児島県	約 4,100	約 20,000	約 2,000	約 50	約 26,000
沖縄県	－	－	約 300	－	約 300
合計	約 851,000	約 323,000	約 127,000	約 8,400	約 1,310,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

半壊棟数（西側半割れ、地震動陸側ケース、冬・夕、風速 8m/s）

（棟）

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地崩壊	合計
茨城県	－	－	約 30	－	約 30
栃木県	－	－	－	－	－
群馬県	－	－	－	－	－
埼玉県	－	－	約 30	－	約 30
千葉県	－	－	約 500	－	約 500
東京都	－	－	約 500	－	約 500
神奈川県	－	－	約 1,000	－	約 1,000
新潟県	－	－	－	－	－
富山県	－	－	－	－	－
石川県	－	－	－	－	－
福井県	－	－	－	－	－
山梨県	－	－	－	－	－
長野県	－	－	－	－	－
岐阜県	－	－	－	－	－
静岡県	－	－	約 1,800	－	約 1,800
愛知県	－	－	約 500	－	約 500
三重県	約 2,900	約 2,900	約 4,500	約 100	約 10,000
滋賀県	約 30	約 1,300	－	－	約 1,300
京都府	約 1,700	約 5,500	－	－	約 7,200
大阪府	約 75,000	約 55,000	約 1,000	約 100	約 131,000
兵庫県	約 76,000	約 18,000	約 5,800	約 300	約 100,000
奈良県	約 11,000	約 20,000	－	約 80	約 31,000
和歌山県	約 76,000	約 14,000	約 13,000	約 1,100	約 104,000
鳥取県	約 70	約 1,500	－	－	約 1,600
島根県	約 30	約 1,400	－	－	約 1,400
岡山県	約 73,000	約 22,000	約 900	約 300	約 96,000
広島県	約 53,000	約 49,000	約 7,800	約 600	約 110,000
山口県	約 8,700	約 10,000	約 3,500	約 80	約 23,000
徳島県	約 75,000	約 14,000	約 17,000	約 1,100	約 108,000
香川県	約 80,000	約 15,000	約 6,800	約 300	約 102,000
愛媛県	約 123,000	約 22,000	約 14,000	約 800	約 160,000
高知県	約 76,000	約 1,700	約 10,000	約 2,000	約 90,000
福岡県	約 200	約 1,400	約 1,700	－	約 3,300
佐賀県	－	約 80	－	－	約 80
長崎県	約 10	約 40	約 2,600	－	約 2,700
熊本県	約 3,800	約 16,000	約 100	約 20	約 19,000
大分県	約 21,000	約 12,000	約 20,000	約 700	約 53,000
宮崎県	約 64,000	約 13,000	約 6,800	約 800	約 85,000
鹿児島県	約 4,100	約 20,000	約 2,000	約 50	約 26,000
沖縄県	－	－	約 300	－	約 300
合計	約 823,000	約 317,000	約 123,000	約 8,300	約 1,271,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

【参考】都府県別の死者数

（１）2 つの半割れ地震が独立して発生した場合の被害（それぞれの地震による被害は考慮しない）

死者数（東側半割れ、冬・深夜、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）	津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
茨城県	－	－	－	－	－	－	－
栃木県	－	－	－	－	－	－	－
群馬県	－	－	－	－	－	－	－
埼玉県	－	－	－	－	－	－	－
千葉県	－	－	－	－	－	－	－
東京都	－	－	－	－	－	－	－
神奈川県	－	－	－	－	－	－	－
新潟県	－	－	－	－	－	－	－
富山県	－	－	－	－	－	－	－
石川県	－	－	－	－	－	－	－
福井県	－	－	－	－	－	－	－
山梨県	約 300	約 20	－	約 10	－	－	約 300
長野県	約 70	約 10	－	約 10	－	－	約 80
岐阜県	約 300	約 30	－	－	－	－	約 300
静岡県	約 11,000	約 900	約 100	約 50	約 1,400	－	約 12,000
愛知県	約 14,000	約 1,200	約 200	約 40	約 2,000	－	約 16,000
三重県	約 8,900	約 500	約 8,500	約 70	約 900	－	約 18,000
滋賀県	約 400	約 40	－	約 10	－	－	約 400
京都府	約 600	約 60	－	－	約 40	－	約 600
大阪府	約 1,500	約 200	－	約 10	約 400	約 10	約 1,900
兵庫県	約 30	約 20	－	－	－	－	約 40
奈良県	約 1,400	約 90	－	約 20	約 20	－	約 1,400
和歌山県	約 200	約 20	約 3,800	約 30	－	－	約 4,100
鳥取県	－	－	－	－	－	－	－
島根県	－	－	－	－	－	－	－
岡山県	－	－	－	－	－	－	－
広島県	－	－	－	－	－	－	－
山口県	－	－	－	－	－	－	－
徳島県	－	－	－	－	－	－	－
香川県	－	－	－	－	－	－	－
愛媛県	－	－	－	－	－	－	－
高知県	－	－	－	－	－	－	－
福岡県	－	－	－	－	－	－	－
佐賀県	－	－	－	－	－	－	－
長崎県	－	－	－	－	－	－	－
熊本県	－	－	－	－	－	－	－
大分県	－	－	－	－	－	－	－
宮崎県	－	－	－	－	－	－	－
鹿児島県	－	－	－	－	－	－	－
沖縄県	－	－	－	－	－	－	－
合計	約 38,000	約 3,100	約 13,000	約 300	約 4,900	約 10	約 56,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

死者数（東側半割れ、冬・深夜、風速 8m/s、早期避難率低）

（人）

	建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）	津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
茨城県	－	－	－	－	－	－	－
栃木県	－	－	－	－	－	－	－
群馬県	－	－	－	－	－	－	－
埼玉県	－	－	－	－	－	－	－
千葉県	－	－	約 200	－	－	－	約 200
東京都	－	－	約 60	－	－	－	約 60
神奈川県	－	－	約 40	－	－	－	約 40
新潟県	－	－	－	－	－	－	－
富山県	－	－	－	－	－	－	－
石川県	－	－	－	－	－	－	－
福井県	－	－	－	－	－	－	－
山梨県	約 300	約 20	－	約 10	－	－	約 300
長野県	約 70	約 10	－	約 10	－	－	約 80
岐阜県	約 300	約 30	－	－	－	－	約 300
静岡県	約 11,000	約 900	約 800	約 50	約 1,400	－	約 13,000
愛知県	約 14,000	約 1,200	約 300	約 40	約 2,000	－	約 16,000
三重県	約 8,900	約 500	約 19,000	約 70	約 900	－	約 29,000
滋賀県	約 400	約 40	－	約 10	－	－	約 400
京都府	約 600	約 60	－	－	約 40	－	約 600
大阪府	約 1,500	約 200	－	約 10	約 400	約 10	約 1,900
兵庫県	約 30	約 20	約 10	－	－	－	約 50
奈良県	約 1,400	約 90	－	約 20	約 20	－	約 1,400
和歌山県	約 200	約 20	約 7,300	約 30	－	－	約 7,600
鳥取県	－	－	－	－	－	－	－
島根県	－	－	－	－	－	－	－
岡山県	－	－	－	－	－	－	－
広島県	－	－	－	－	－	－	－
山口県	－	－	約 10	－	－	－	約 10
徳島県	－	－	約 400	－	－	－	約 400
香川県	－	－	－	－	－	－	－
愛媛県	－	－	約 10	－	－	－	約 10
高知県	－	－	約 400	－	－	－	約 400
福岡県	－	－	－	－	－	－	－
佐賀県	－	－	－	－	－	－	－
長崎県	－	－	約 40	－	－	－	約 40
熊本県	－	－	－	－	－	－	－
大分県	－	－	約 30	－	－	－	約 30
宮崎県	－	－	約 30	－	－	－	約 30
鹿児島県	－	－	約 30	－	－	－	約 30
沖縄県	－	－	－	－	－	－	－
合計	約 38,000	約 3,100	約 29,000	約 300	約 4,900	約 10	約 73,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

死者数（東側半割れ、冬・夕、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）	津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
茨城県	－	－	－	－	－	－	－
栃木県	－	－	－	－	－	－	－
群馬県	－	－	－	－	－	－	－
埼玉県	－	－	－	－	－	－	－
千葉県	－	－	－	－	－	－	－
東京都	－	－	－	－	－	－	－
神奈川県	－	－	－	－	－	－	約 10
新潟県	－	－	－	－	－	－	－
富山県	－	－	－	－	－	－	－
石川県	－	－	－	－	－	－	－
福井県	－	－	－	－	－	－	－
山梨県	約 200	約 10	－	約 10	約 40	約 10	約 300
長野県	約 50	約 10	－	約 10	－	－	約 60
岐阜県	約 200	約 20	－	－	約 10	約 10	約 200
静岡県	約 7,900	約 600	約 50	約 30	約 2,600	約 50	約 11,000
愛知県	約 10,000	約 800	約 100	約 30	約 3,900	約 100	約 14,000
三重県	約 6,400	約 300	約 3,800	約 50	約 1,600	約 20	約 12,000
滋賀県	約 300	約 30	－	約 10	約 90	約 10	約 400
京都府	約 400	約 40	－	－	約 1,000	約 70	約 1,500
大阪府	約 1,300	約 100	－	－	約 2,800	約 200	約 4,300
兵庫県	約 30	約 10	－	－	約 30	約 20	約 70
奈良県	約 1,000	約 60	－	約 20	約 300	約 20	約 1,300
和歌山県	約 200	約 10	約 1,700	約 20	約 20	－	約 1,900
鳥取県	－	－	－	－	－	－	－
島根県	－	－	－	－	－	－	－
岡山県	－	－	－	－	－	－	－
広島県	－	－	－	－	－	－	－
山口県	－	－	－	－	－	－	－
徳島県	－	－	－	－	－	－	－
香川県	－	－	－	－	－	－	－
愛媛県	－	－	－	－	－	－	－
高知県	－	－	－	－	－	－	－
福岡県	－	－	－	－	－	－	－
佐賀県	－	－	－	－	－	－	－
長崎県	－	－	－	－	－	－	－
熊本県	－	－	－	－	－	－	－
大分県	－	－	－	－	－	－	－
宮崎県	－	－	－	－	－	－	－
鹿児島県	－	－	－	－	－	－	－
沖縄県	－	－	－	－	－	－	－
合計	約 28,000	約 2,000	約 5,600	約 200	約 12,000	約 500	約 47,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

死者数（東側半割れ、冬・夕、風速 8m/s、早期避難率低）

（人）

	建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）	津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
茨城県	－	－	－	－	－	－	－
栃木県	－	－	－	－	－	－	－
群馬県	－	－	－	－	－	－	－
埼玉県	－	－	－	－	－	－	－
千葉県	－	－	約 200	－	－	－	約 200
東京都	－	－	約 50	－	－	－	約 60
神奈川県	－	－	約 30	－	－	－	約 40
新潟県	－	－	－	－	－	－	－
富山県	－	－	－	－	－	－	－
石川県	－	－	－	－	－	－	－
福井県	－	－	－	－	－	－	－
山梨県	約 200	約 10	－	約 10	約 40	約 10	約 300
長野県	約 50	約 10	－	約 10	－	－	約 60
岐阜県	約 200	約 20	－	－	約 10	約 10	約 200
静岡県	約 7,900	約 600	約 700	約 30	約 2,600	約 50	約 11,000
愛知県	約 10,000	約 800	約 300	約 30	約 3,900	約 100	約 14,000
三重県	約 6,400	約 300	約 13,000	約 50	約 1,600	約 20	約 21,000
滋賀県	約 300	約 30	－	約 10	約 90	約 10	約 400
京都府	約 400	約 40	－	－	約 1,000	約 70	約 1,500
大阪府	約 1,300	約 100	－	－	約 2,800	約 200	約 4,300
兵庫県	約 30	約 10	約 10	－	約 30	約 20	約 90
奈良県	約 1,000	約 60	－	約 20	約 300	約 20	約 1,300
和歌山県	約 200	約 10	約 5,500	約 20	約 20	－	約 5,700
鳥取県	－	－	－	－	－	－	－
島根県	－	－	－	－	－	－	－
岡山県	－	－	－	－	－	－	－
広島県	－	－	－	－	－	－	－
山口県	－	－	約 10	－	－	－	約 10
徳島県	－	－	約 400	－	－	－	約 400
香川県	－	－	－	－	－	－	－
愛媛県	－	－	約 20	－	－	－	約 20
高知県	－	－	約 400	－	－	－	約 400
福岡県	－	－	－	－	－	－	－
佐賀県	－	－	－	－	－	－	－
長崎県	－	－	約 40	－	－	－	約 40
熊本県	－	－	－	－	－	－	－
大分県	－	－	約 30	－	－	－	約 30
宮崎県	－	－	約 30	－	－	－	約 30
鹿児島県	－	－	約 20	－	－	－	約 20
沖縄県	－	－	－	－	－	－	－
合計	約 28,000	約 2,000	約 21,000	約 200	約 12,000	約 500	約 62,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

死者数（西側半割れ、冬・深夜、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）	津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
茨城県	－	－	－	－	－	－	－
栃木県	－	－	－	－	－	－	－
群馬県	－	－	－	－	－	－	－
埼玉県	－	－	－	－	－	－	－
千葉県	－	－	－	－	－	－	－
東京都	－	－	－	－	－	－	－
神奈川県	－	－	－	－	－	－	－
新潟県	－	－	－	－	－	－	－
富山県	－	－	－	－	－	－	－
石川県	－	－	－	－	－	－	－
福井県	－	－	－	－	－	－	－
山梨県	－	－	－	－	－	－	－
長野県	－	－	－	－	－	－	－
岐阜県	－	－	－	－	－	－	－
静岡県	－	－	－	－	－	－	－
愛知県	－	－	－	－	－	－	－
三重県	約 30	－	約 10	約 10	－	－	約 40
滋賀県	－	－	－	－	－	－	－
京都府	－	－	－	－	－	－	－
大阪府	約 400	約 80	－	－	約 10	－	約 400
兵庫県	約 1,100	約 100	約 40	約 10	約 40	－	約 1,200
奈良県	約 30	約 10	－	－	－	－	約 30
和歌山県	約 4,600	約 200	約 1,700	約 50	約 800	－	約 7,200
鳥取県	－	－	－	－	－	－	－
島根県	－	－	－	－	－	－	－
岡山県	約 800	約 80	約 10	約 10	約 50	－	約 900
広島県	約 600	約 50	約 20	約 30	－	－	約 600
山口県	約 70	－	－	－	－	－	約 70
徳島県	約 4,900	約 300	約 3,500	約 50	約 800	－	約 9,300
香川県	約 2,200	約 100	約 100	約 10	約 90	－	約 2,400
愛媛県	約 6,500	約 400	約 1,200	約 40	約 900	－	約 8,600
高知県	約 9,300	約 600	約 8,300	約 100	約 1,000	－	約 19,000
福岡県	－	－	－	－	－	－	－
佐賀県	－	－	－	－	－	－	－
長崎県	－	－	－	－	－	－	－
熊本県	－	－	－	－	－	－	－
大分県	約 200	約 20	約 50	約 30	－	－	約 200
宮崎県	約 2,000	約 200	約 300	約 40	約 200	－	約 2,600
鹿児島県	約 10	－	－	－	－	－	約 10
沖縄県	－	－	－	－	－	－	－
合計	約 33,000	約 2,100	約 15,000	約 400	約 4,000	約 10	約 52,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

死者数（西側半割れ、冬・深夜、風速 8m/s、早期避難率低）

（人）

	建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）	津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
茨城県	－	－	－	－	－	－	－
栃木県	－	－	－	－	－	－	－
群馬県	－	－	－	－	－	－	－
埼玉県	－	－	－	－	－	－	－
千葉県	－	－	約 10	－	－	－	約 10
東京都	－	－	約 100	－	－	－	約 100
神奈川県	－	－	約 10	－	－	－	約 10
新潟県	－	－	－	－	－	－	－
富山県	－	－	－	－	－	－	－
石川県	－	－	－	－	－	－	－
福井県	－	－	－	－	－	－	－
山梨県	－	－	－	－	－	－	－
長野県	－	－	－	－	－	－	－
岐阜県	－	－	－	－	－	－	－
静岡県	－	－	約 30	－	－	－	約 30
愛知県	－	－	約 10	－	－	－	約 10
三重県	約 30	－	約 400	約 10	－	－	約 500
滋賀県	－	－	－	－	－	－	－
京都府	－	－	－	－	－	－	－
大阪府	約 400	約 80	約 40	－	約 10	－	約 400
兵庫県	約 1,100	約 100	約 800	約 10	約 40	－	約 2,000
奈良県	約 30	約 10	－	－	－	－	約 30
和歌山県	約 4,600	約 200	約 7,300	約 50	約 800	－	約 13,000
鳥取県	－	－	－	－	－	－	－
島根県	－	－	－	－	－	－	－
岡山県	約 800	約 80	約 30	約 10	約 50	－	約 900
広島県	約 600	約 50	約 700	約 30	－	－	約 1,300
山口県	約 70	－	約 50	－	－	－	約 100
徳島県	約 4,900	約 300	約 11,000	約 50	約 800	－	約 17,000
香川県	約 2,200	約 100	約 700	約 10	約 90	－	約 3,000
愛媛県	約 6,500	約 400	約 9,500	約 40	約 900	－	約 17,000
高知県	約 9,300	約 600	約 24,000	約 100	約 1,000	－	約 35,000
福岡県	－	－	約 30	－	－	－	約 30
佐賀県	－	－	－	－	－	－	－
長崎県	－	－	約 200	－	－	－	約 200
熊本県	－	－	－	－	－	－	－
大分県	約 200	約 20	約 5,300	約 30	－	－	約 5,500
宮崎県	約 2,000	約 200	約 4,400	約 40	約 200	－	約 6,700
鹿児島県	約 10	－	約 200	－	－	－	約 200
沖縄県	－	－	－	－	－	－	－
合計	約 33,000	約 2,100	約 66,000	約 400	約 4,000	約 10	約 103,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

死者数（西側半割れ、冬・夕、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）	津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
茨城県	－	－	－	－	－	－	－
栃木県	－	－	－	－	－	－	－
群馬県	－	－	－	－	－	－	－
埼玉県	－	－	－	－	－	－	－
千葉県	－	－	－	－	－	－	－
東京都	－	－	－	－	－	－	－
神奈川県	－	－	－	－	－	－	－
新潟県	－	－	－	－	－	－	－
富山県	－	－	－	－	－	－	－
石川県	－	－	－	－	－	－	－
福井県	－	－	－	－	－	－	－
山梨県	－	－	－	－	－	－	－
長野県	－	－	－	－	－	－	－
岐阜県	－	－	－	－	－	－	－
静岡県	－	－	－	－	－	－	－
愛知県	－	－	－	－	－	－	－
三重県	約 20	－	－	－	－	－	約 20
滋賀県	－	－	－	－	－	－	－
京都府	－	－	－	－	－	－	－
大阪府	約 300	約 60	－	－	約 800	約 100	約 1,300
兵庫県	約 800	約 60	約 30	約 10	約 300	約 40	約 1,200
奈良県	約 20	約 10	－	－	－	約 10	約 30
和歌山県	約 3,500	約 200	約 1,000	約 40	約 900	約 10	約 5,500
鳥取県	－	－	－	－	－	－	－
島根県	－	－	－	－	－	－	－
岡山県	約 600	約 50	約 10	約 10	約 600	約 10	約 1,200
広島県	約 400	約 30	約 10	約 20	約 10	約 20	約 500
山口県	約 50	－	－	－	－	－	約 50
徳島県	約 3,600	約 200	約 2,200	約 40	約 700	約 10	約 6,600
香川県	約 1,600	約 70	約 80	約 10	約 200	約 10	約 1,900
愛媛県	約 4,700	約 200	約 700	約 30	約 1,800	約 20	約 7,300
高知県	約 6,800	約 400	約 4,500	約 80	約 1,500	約 10	約 13,000
福岡県	－	－	－	－	－	－	－
佐賀県	－	－	－	－	－	－	－
長崎県	－	－	－	－	－	－	－
熊本県	－	－	－	－	－	－	－
大分県	約 100	約 10	約 30	約 20	約 20	－	約 200
宮崎県	約 1,500	約 100	約 200	約 30	約 700	約 10	約 2,400
鹿児島県	約 10	－	－	－	－	－	約 10
沖縄県	－	－	－	－	－	－	－
合計	約 24,000	約 1,400	約 8,700	約 300	約 7,600	約 300	約 41,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

死者数（西側半割れ、冬・夕、風速 8m/s、早期避難率低）

（人）

	建物倒壊	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）	津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
茨城県	－	－	－	－	－	－	－
栃木県	－	－	－	－	－	－	－
群馬県	－	－	－	－	－	－	－
埼玉県	－	－	－	－	－	－	－
千葉県	－	－	約 10	－	－	－	約 10
東京都	－	－	約 90	－	－	－	約 90
神奈川県	－	－	約 20	－	－	－	約 20
新潟県	－	－	－	－	－	－	－
富山県	－	－	－	－	－	－	－
石川県	－	－	－	－	－	－	－
福井県	－	－	－	－	－	－	－
山梨県	－	－	－	－	－	－	－
長野県	－	－	－	－	－	－	－
岐阜県	－	－	－	－	－	－	－
静岡県	－	－	約 30	－	－	－	約 30
愛知県	－	－	約 10	－	－	－	約 10
三重県	約 20	－	約 400	－	－	－	約 400
滋賀県	－	－	－	－	－	－	－
京都府	－	－	－	－	－	－	－
大阪府	約 300	約 60	約 40	－	約 800	約 100	約 1,300
兵庫県	約 800	約 60	約 800	約 10	約 300	約 40	約 2,000
奈良県	約 20	約 10	－	－	－	約 10	約 30
和歌山県	約 3,500	約 200	約 6,100	約 40	約 900	約 10	約 11,000
鳥取県	－	－	－	－	－	－	－
島根県	－	－	－	－	－	－	－
岡山県	約 600	約 50	約 30	約 10	約 600	約 10	約 1,200
広島県	約 400	約 30	約 600	約 20	約 10	約 20	約 1,100
山口県	約 50	－	約 70	－	－	－	約 100
徳島県	約 3,600	約 200	約 9,200	約 40	約 700	約 10	約 14,000
香川県	約 1,600	約 70	約 500	約 10	約 200	約 10	約 2,300
愛媛県	約 4,700	約 200	約 8,300	約 30	約 1,800	約 20	約 15,000
高知県	約 6,800	約 400	約 19,000	約 80	約 1,500	約 10	約 27,000
福岡県	－	－	約 30	－	－	－	約 30
佐賀県	－	－	－	－	－	－	－
長崎県	－	－	約 200	－	－	－	約 200
熊本県	－	－	－	－	－	－	約 10
大分県	約 100	約 10	約 4,900	約 20	約 20	－	約 5,000
宮崎県	約 1,500	約 100	約 4,100	約 30	約 700	約 10	約 6,300
鹿児島県	約 10	－	約 100	－	－	－	約 200
沖縄県	－	－	－	－	－	－	－
合計	約 24,000	約 1,400	約 55,000	約 300	約 7,600	約 300	約 87,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

（２）先発地震の被害を考慮し、後発地震が発生した場合の被害

（ア）先発地震が東側半割れ、後発地震が西側半割れの場合

津波による死者数

（人）

	先発地震（東半割れ）	後発地震（西半割れ）	合計
茨城県	－	－	－
栃木県	－	－	－
群馬県	－	－	－
埼玉県	－	－	－
千葉県	約 200	－	約 200
東京都	約 60	－	約 60
神奈川県	約 40	－	約 40
新潟県	－	－	－
富山県	－	－	－
石川県	－	－	－
福井県	－	－	－
山梨県	－	－	－
長野県	－	－	－
岐阜県	－	－	－
静岡県	約 800	－	約 800
愛知県	約 300	－	約 300
三重県	約 19,000	－	約 19,000
滋賀県	－	－	－
京都府	－	－	－
大阪府	－	－	－
兵庫県	約 10	約 30	約 40
奈良県	－	－	－
和歌山県	約 7,300	約 900	約 8,200
鳥取県	－	－	－
島根県	－	－	－
岡山県	－	約 10	約 10
広島県	－	約 20	約 20
山口県	約 10	－	約 10
徳島県	約 400	約 2,900	約 3,300
香川県	－	約 100	約 100
愛媛県	約 10	約 1,100	約 1,100
高知県	約 400	約 7,400	約 7,900
福岡県	－	－	－
佐賀県	－	－	－
長崎県	約 40	－	約 40
熊本県	－	－	－
大分県	約 30	約 50	約 70
宮崎県	約 30	約 300	約 300
鹿児島県	約 30	－	約 30
沖縄県	－	－	－
合計	約 29,000	約 13,000	約 42,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

※いずれも、冬・深夜、風速8m/s、先発地震が早期避難率低、後発地震が早期避難率高＋呼びかけの場合

（イ） 先発地震が西側半割れ、後発地震が東側半割れの場合

津波による死者数

（人）

	先発地震 （西半割れ）	後発地震 （東半割れ）	合計
茨城県	－	－	－
栃木県	－	－	－
群馬県	－	－	－
埼玉県	－	－	－
千葉県	約 10	－	約 10
東京都	約 100	－	約 100
神奈川県	約 10	－	約 10
新潟県	－	－	－
富山県	－	－	－
石川県	－	－	－
福井県	－	－	－
山梨県	－	－	－
長野県	－	－	－
岐阜県	－	－	－
静岡県	約 40	約 30	約 60
愛知県	約 10	約 100	約 100
三重県	約 400	約 6,200	約 6,600
滋賀県	－	－	－
京都府	－	－	－
大阪府	約 40	－	約 40
兵庫県	約 800	－	約 800
奈良県	－	－	－
和歌山県	約 7,300	約 1,600	約 8,900
鳥取県	－	－	－
島根県	－	－	－
岡山県	約 40	－	約 40
広島県	約 700	－	約 700
山口県	約 50	－	約 50
徳島県	約 11,000	－	約 11,000
香川県	約 700	－	約 700
愛媛県	約 9,500	－	約 9,500
高知県	約 24,000	－	約 24,000
福岡県	約 30	－	約 30
佐賀県	－	－	－
長崎県	約 200	－	約 200
熊本県	－	－	－
大分県	約 5,300	－	約 5,300
宮崎県	約 4,400	－	約 4,400
鹿児島県	約 200	－	約 200
沖縄県	－	－	－
合計	約 66,000	約 7,900	約 74,000

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

※いずれも、冬・深夜、風速8m/s、先発地震が早期避難率低、後発地震が早期避難率高＋呼びかけの場合